

“診断渋滞” が

足かせになっていませんか？

— 同時実行数追加・CI/CD連携で、より高頻度な診断を —

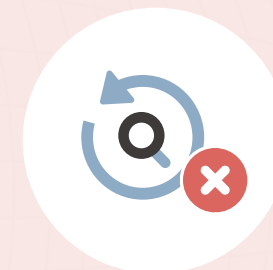
内製化はできたものの、**診断渋滞**が起こっていませんか？

内製化によって範囲を広げられた一方で、診断数の多さからスケジュール調整に難航したり、実際には、診断すべきタイミングで実施できていないというお悩みも伺います。

毎月5サイト診断したいが、
タイミングが集中して
半分も実施できない



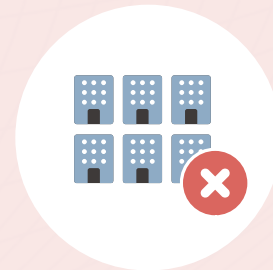
多数のサイトを運営しており、
定期的な診断が追いつかない



月1回以上の
高速なリリースサイクルでは、
診断待ちがボトルネックに



何十社もある
グループ会社の診断も
引き受けており、手が回らない



最終的に「セキュリティ部門が原因でリリースが遅れた」など、不満の声があがってくることも…

| 診断渋滞が事業・ビジネスにとってのリスクとなる

リリースは遅らせたくない一方でセキュリティを諦めるわけにはいかず、セキュリティ担当の皆さまは常にプレッシャーを感じられているのではないのでしょうか。

リリース遅延や 運用スケジュールの崩れによる ビジネス機会の損失



診断の実施を待つことで、リリースが遅延し最悪の場合、売上毀損や顧客離反につながる等直接的な事業影響につながるリスク

未対策の脆弱性が引き起こす 情報漏洩や信用低下



脆弱性が残った状態で／見逃されたままリリースすると、万が一、攻撃された場合情報漏洩や改ざん等の重大事故につながる恐れ

| 診断渋滞が起こる主な原因は様々だが、放っておけば悪化するのみ

Webサイト数が多い
しかも年々増加していく...



リリースが高頻度
改修や機能追加が頻繁にある



セキュリティ担当者の
業務量が多い
慢性的に人手不足...



診断需要が高まる一方、従来のやり方では追いつかない状況に



診断体制の見直しと
AeyeScanのさらなる活用により
診断渋滞を解決できます！

解決策 1

| 事業部門・開発部門を巻き込んだ診断体制への移行

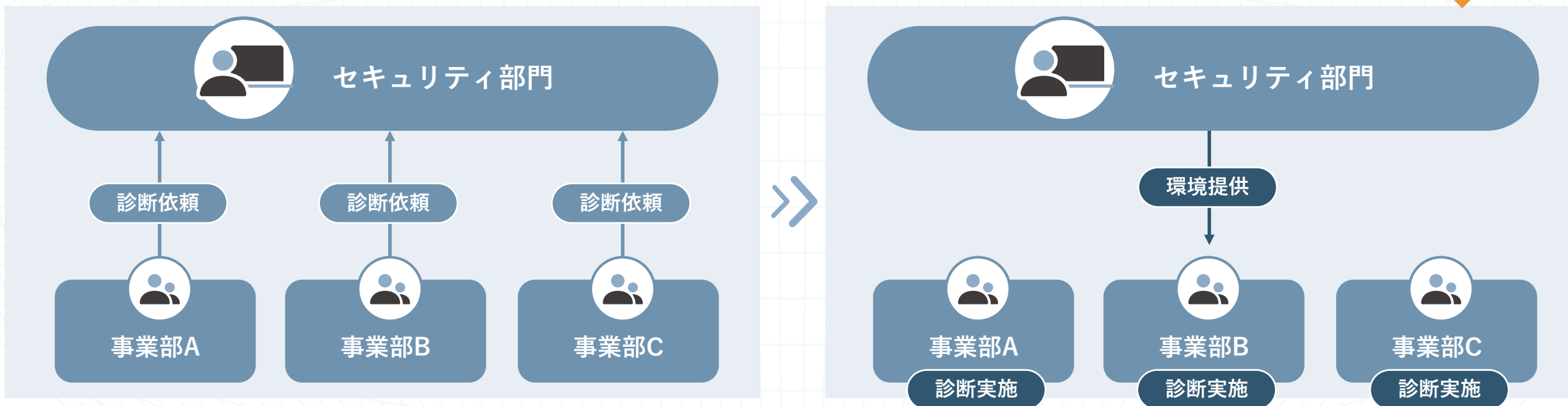
増加するWebサイトに対し、開発の早い段階で診断を実施（シフトレフト）することで負荷を分散。同時にセキュリティ意識の醸成・精密な診断も可能にします。

メリット

好きなタイミングで
診断できる

システムの理解が深い人
が診断できる

リリース前診断も
スムーズにできる

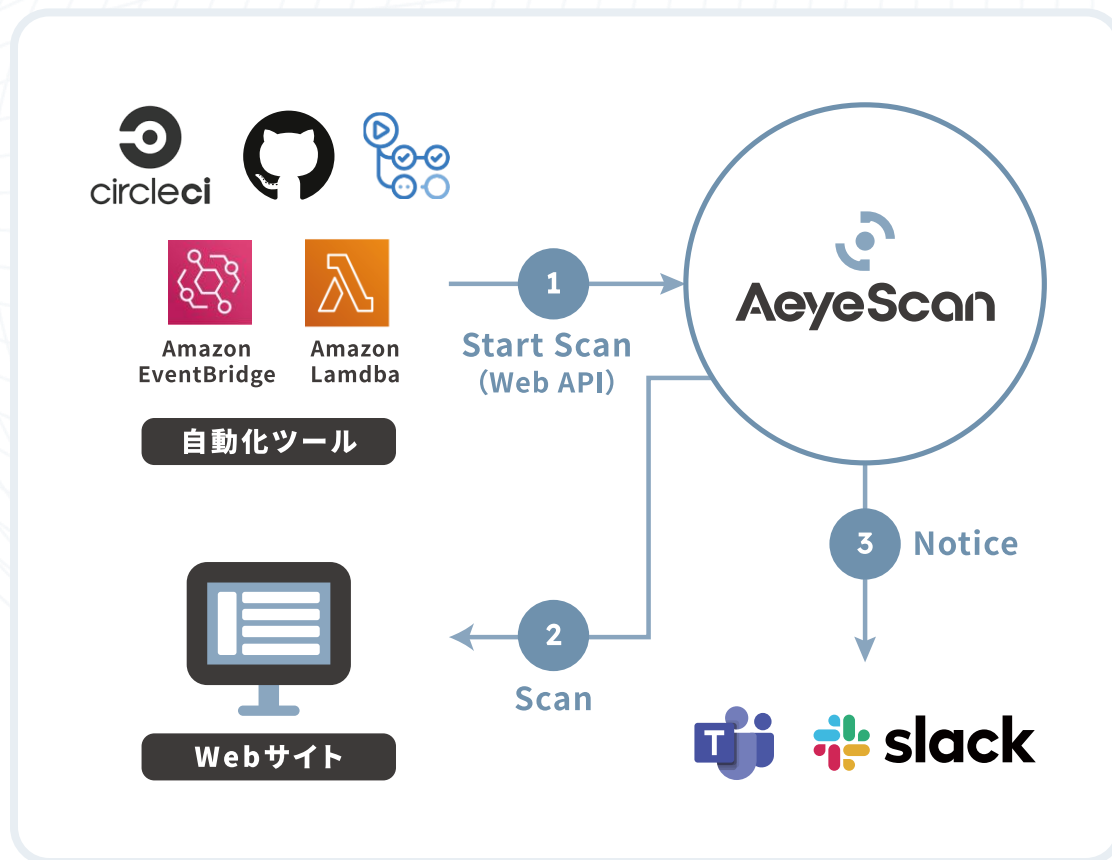


**AeyeScanは専門知識のない方が使うことを想定して作られています
実際に、事業部門・開発部門の方が診断を実施されているケースは少なくありません**

解決策 2

| CI/CD連携でアジャイル開発・高頻度リリースでも漏れなく診断

CI/CDに組み込むことで、リリースのたびに自動で診断が実行される仕組みづくりが可能に。診断を開発プロセスに組み込み標準化できるので、大幅な効率化とセキュリティ強化を両立。



某金融企業さまの例

エンジニアがほぼ手を動かさなくても
診断サイクルを回せる仕組みができた

- AeyeScanのスケジュール機能を用い、診断を定期的
に実施するよう自動設定
- APIを用い、レポートが出力されたらSlackに自動通知
する仕組みを実装

スタートさせておいて、あとは他の作業をしていればよく、
終わったらSlackの通知を見てレポートを共有するだけ
なので非常に楽になりました。
スケジュールを設定することで、今や診断のスタート
ボタンすら押す必要がなくなっています。



成功事例

| 約60プロダクトを定期診断できる体制を構築

某金融系サービス企業さまの事例

課題

- 事業拡大に伴いプロダクト数が増加し、外注だけでは診断の頻度に課題があった
- 過去に診断ツールを導入したことがあるものの、継続できなかった

解決策

- AeyeScanを導入し、セキュリティチームだけでなく開発(QA)メンバーも診断できる体制を構築
- 同時に診断できるパイプライン（同時実行数）も増設し、自動化に向けた取り組みも検討中

効果

- 提供している全てのサービス・プロダクトにおいて定期診断を実施できるようになった
- 診断を進める中で、開発チーム（プロダクトチーム）のセキュリティ意識が向上

その他にも…

体制移行によって

すべての診断でAeyeScanが使用されている状態を実現されたA社

CI/CD連携によって

以前の工数 100→限りなくゼロに近い状態を実現されたB社 など

目指す環境を実現するためのAeyeScan同時実行数の最適化も含め、支援しています

まとめ



診断すべきサイトが多すぎる…



リリース頻度が短く
人力では無理が…



セキュリティ部門の
人員が足りない…



以下にて課題解決されたお客様がいらっしゃいます。

- ✓ 事業/開発部門を巻き込んだ診断体制への移行
- ✓ CI/CD連携による診断の自動化

これらも含め、貴社の診断体制のさらなる改善に
私どもと一緒に取り組みませんか？

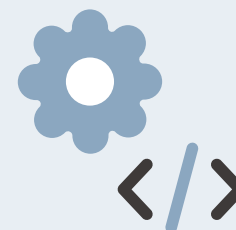
状況によっては、同時実行数を最適化するだけでも
即効性のある効果が期待できるケースがございます。
まずはお気軽にご相談を。

本資料の内容に関連するAeyeScan機能

ご興味がありましたら、ぜひ弊社担当までお声がけください！



同時実行数追加



CI/CD連携

体制移行についても、弊社カスタマーサクセス担当者が進め方などのご相談を承ります

※弊社担当へのメールでなくとも、ご都合の良い手段でご連絡いただけますと幸いです



AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。